

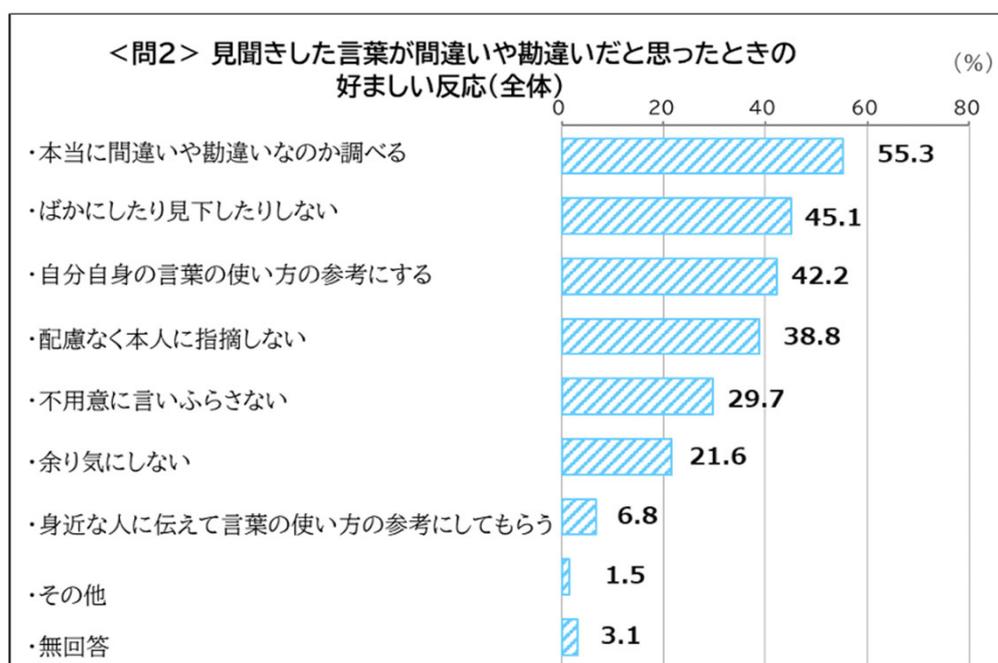
『国語に関する世論調査』を 辞書編集者はどう見ているか？

2024年8月23日(金)

辞書編集者

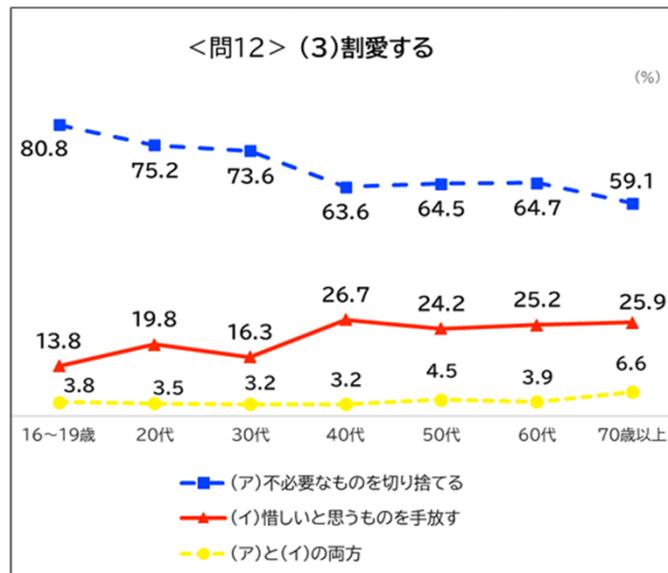
神永 暁

1



2

「割愛する」 (令和3年度「国語に関する世論調査」)



3

2020年以降に改訂された国語辞典の扱いは3つに分れる

- 本来の意味だけでなく、新しい意味も載せるもの
 【三省堂国語辞典』第8版(2022年)】
 ①本来の意味 ②省略すること。「**不要な描写を割愛する**」
 「**もとの意味がうすれた用法**」
- 新しい意味を誤用とするもの
 【『明鏡国語辞典』第3版(2021年)】
 (「注意」欄で) **不必要だと思ふものを切り捨てる意で使うのは誤り。×「本筋とは関係ないので割愛した」**
- 新しい意味には触れていないもの
 【『新選国語辞典』第10版(2022年)】
 おしく思ふものをあきらめること。手ばなしたくないものを手ばなすこと。「説明は割愛します」「収集品を割愛する」

4

ほぼ-ほぼ【▽略▽略／▽粗▽粗】

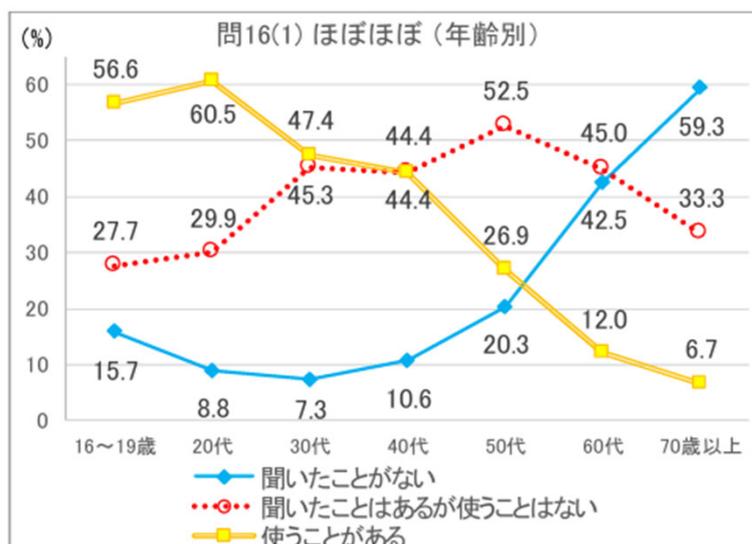
[副] 俗に、「ほぼ」を強めていう語。ほとんど全部。
「提出物はーできている」「以前とー変わらない生活」
(『デジタル大辞泉』小学館)

「二十世紀末から例が目立ち、2010年代に広まったことば」
(『三省堂国語辞典』第8版 2022年)

5

「ほぼほぼ」

平成29年度(2017年)国語に関する世論調査



6

- 「ほぼほぼ」を立項している辞典
 - 『大辞林』第4版（2019年）
 - 『新明解国語辞典』第8版（2020年）
 - 『明鏡国語辞典』第3版（2021年）
 - 『三省堂国語辞典』第8版（2022年）
 - 『デジタル大辞泉』（デジタル版のみ。年2回更新）
 - 「ほぼほぼ」を立項していない辞典
 - 『広辞苑』第7版（2018年）
 - 『岩波国語辞典』第8版（2019年）
 - 『新選国語辞典』第10版（2022年）
- （2024年現在）

7

- 「涼しい顔をする」：「関係があるのに知らんぷりする」 22.9%
- 「大変な状況でも平気そうにする」 61.0%
- 「忸怩たる思い」：「恥じ入るような思い」 33.5%
- 「残念で、もどかしい思い」 52.6%
- 「情けは人のためならず」：
 - 「人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになる」 46.2%
 - 「人に情けを掛けて助けてやることは、結局はその人のためにならな
い」 47.7%
- 「雨模様」：「雨が降りそうな様子」 37.1%
- 「小雨が降ったりやんだりしている様子」 49.4%
- 「号泣する」：「大声を上げて泣く」 30.3%
- 「激しく泣く」 42.1%

8